

# 高速試作

## ○ラピッドプロトタイピング(RP)システム

デザイン確認から機能・性能評価用樹脂モデルや製品をナイロン等で直接製作できるレーザー焼結型RP。

材料に、ナイロン、アルミ入りナイロン、ガラス入りナイロンとバリエーションがあり、気密性に優れ、強度を持った造形が行えます。クリアランスさえあれば、外装・内装部品を組み立てたまま造形することも可能です。

最大造形サイズ:約340×340×620mm

積層厚:0.15mm(推奨値)

レーザータイプ:CO<sub>2</sub>レーザー 50W

レーザー走査速度:最大 5m/s

・EOSINT P385/EOS GmbH社製

参考URL

<http://www.nttd-es.co.jp/products/rapid/eosint/eosintp/eop.htm>



## ○3Dプリンター

造形スピードが高速で、サポート造形が不要なため操作しやすい造形機。初期形状の確認のために最適。例えば家電・日用品の製品デザインでは、にぎった感触やデザインの柔らかさまたはシャープさが追及されます。よりよい製品の追求のために、同時に複数案を造形して形状を吟味できます。

最大造形サイズ:約200×250×200mm

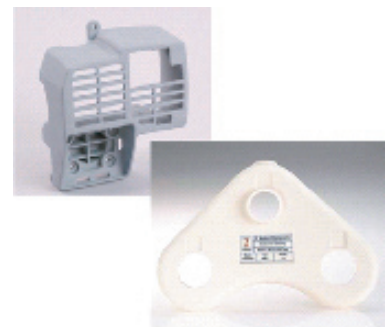
積層ピッチ:0.1mm(センター設定値)

ヘッド解像度:300×450dpi

材料:石膏ベースパウダー

・Z printer 310 System/Z Corporation社製

参考URL <http://www.di-co.jp/>



製品名および会社名はすべて各社の登録商標もしくは商標です。